

藤沢市長  
鈴木恒夫様

議会議長  
加藤



議会報告会「カフェトークふじさわ」で出された意見等に基づく提言について

1. 経緯

本市議会は、平成25年2月に制定された藤沢市議会基本条例に基づき実施してきた議会報告会の形を変え、平成28年から「カフェトークふじさわ」としてこれまで4回開催してきました。

「第5回カフェトークふじさわ」となる今回は、「ふじさわのマニフェストをつくろう！」をテーマとし、若い世代の方々も含めて、藤沢市に期待することは何かを提案してもらうことを目的に、幅広い意見交換を行いました（令和元年11月30日開催）。

また、カフェトークふじさわの講師及びファシリテーションを依頼した関東学院大学牧瀬准教授のゼミナールにおいて、今回のカフェトークふじさわの開催結果を踏まえ、政策提言を作成し、その内容について、市議会に対して発表がされました（令和2年1月12日開催）。

この度、これらの結果を集約しましたので、今後の藤沢市の取り組みに反映していただきたく、提言します。

2. 「ふじさわのマニフェストをつくろう！」について、カフェトークで出された意見まとめ

類型	藤沢市で日常生活を営む中で、困っていること、改善すべきこと	藤沢市役所が解決すべき課題
道路・交通	国道・辻堂駅・遊行寺・江の島付近の交通渋滞が多い。	道路整備の推進。
	夕方以降、通学路等で暗いところがある。	街灯の整備。
	自転車道が少なく、通行に困る。	歩行者と自転車の調和のとれた交通環境の整備。
	市北部への交通アクセスが悪い。	コミュニティバスなど、北部地区への交通アクセスの充実。
ごみ・環境	コンビニの周りのポイ捨てや観光客によるごみが多い。	ごみ問題への関心の醸成。
	ごみの出し方に関するマナーが悪い。	分別ルールの再考。
学校・教育	校舎の雨漏りがひどい学校がある。	学校の老朽対策。
	学校にみんなのトイレが少なかったり、性別で制服が決められていたり、LGBTへの配慮がされていない。	LGBTへの理解の促進。 制服の対応。
子育て	子どもが遊べる公園などが少ない。	公園や遊ぶ場所などの整備。
福祉	団地居住高齢者や認知症高齢者等への支援が必要。	高齢者が一人で暮らせる施設、高齢者が交流できる場の整備。

自治会	自治会への入会が少ない。	コミュニティの醸成。
市政運営	市民との情報交換・意見集約システムがあるといい。	市と住民の情報交換の場を多くつくる。

### 3. 牧瀬ゼミナールの政策提言で出された提案の抜粋

類型	藤沢市役所が解決すべき課題への対応案
道路・交通	・街灯の増設→(1) ・北部でのシェアサイクル導入→(1)
ごみ・環境	・イベント会場でのごみ捨て場の増設→(2)
学校・教育	・出張寺子屋の開設→(3)
子育て	・ボール遊びができる公園の整備→(3)
福祉	・高齢者コミュニティの場所の提供→(4)
自治会	・ボランティア活動の推進(参加者へのポイント付与制度)
市政運営	・大学の役割を明確にし、学生のまちづくり参加を後押し→(5) ・藤沢市における学生のまちの推進に関する条例の制定

※対応案の中の( )数字は、次の4. に反映した取り組みの項番になります。

### 4. 藤沢市に対する今後の取り組みへの提言

第5回カフェトークふじさわを通して出された意見やボランティア参加の学生から出された意見等をもとに、藤沢のマニフェストのキャッチコピーと取り組みを提言します。

(カフェトーク当日に作成されたキャッチコピーは計14件ありましたが、そのうち取り組みに関連するものを掲載しています。)

#### (1) 道も心も明るく

- ・交通渋滞の緩和や街灯及び自転車道を整備すること。
- ・コミュニティバスの整備やシェアサイクルの導入など北部地区への交通アクセスを向上させること。

#### (2) クリーンアップふじさわ (他に、クリーンなまちふじさわ・美しくよりキュンとするまちに)

- ・市民及び観光客に対するごみ問題への関心やマナーを向上させるため、啓発に取り組むこと。
- ・イベント会場にごみ捨て場を増設するなど、環境を整備すること。

#### (3) 子どもと作る藤沢デザイン (他に、子どもは希望です)

- ・子どもたちが安心して遊べる公園や不登校の子どもたちのために出張寺子屋などの整備を検討すること。
- ・老朽化した教育施設の修繕や、学校現場でのLGBTへのさらなる対応を進めること。

#### (4) ふじさわFamily

- ・高齢者が安心して生活できるよう、高齢者が一人で暮らせる施設や、交流できるコミュニティスペースを整備すること。

#### (5) 市民が主役の市政 (他に、みんなが主人公 One Heart ふじさわ)

- ・学生など若者を主体としたまちづくり事業を創出すること。
- ・市民と行政との交流イベントを定期化するなど情報交換の場を多くつくること。

以上